※別紙2

技術概要書（様式）

出展技術の分類	インフラDX　安全･防災　維持管理　[✓ 環境]　コスト　品質　（該当分類に○を付記）		
技術名称	次世代舗装技術研究開発・実証拠点	担当部署	九州支店　土木営業部
NETIS登録番号		担当者	仲里　和宏
社名等	大成建設株式会社	電話番号	092-475-5714

技術の概要

１．技術開発の背景及び契機

大成建設グループは、次世代舗装技術の材料開発から評価･実証までを一気通貫で実施する体制を整え、CO2排出量削減による脱炭素、資源循環、DXに取り組み、社会実装を加速することで、これらの技術の早期実現に貢献します。

２．技術の内容

1.　次世代技術研究所「T-FIELD/SATTE」は、国内初のゼロカーボンビルを核に、舗装道路の材料開発･製造･施工検証までを行います。民間で最大規模の最新型DX対応の輪荷重試験機は、車両走行を模擬した繰り返し載荷を行い、コンクリート床版の耐久性を評価します。アスファルト/コンクリート製造ラボはCO2を固定したアスファルト混合物や代替燃料を用いた製造実験、脱炭素･再生資材を原料としたコンクリートの製造実験を大型プラントで実施します。また製造した舗装用材料やDXを用いた舗装施工技術をヤード実験で検証します

2.　次世代技術実証センター「T-FIELD/TAMURA」は、民間施設として国内初となる実寸大舗装の耐久性を評価する実証実験走路を備えています。1周909mの楕円形コースに低炭素、高耐久アスファルト舗装など異なる舗装材料･構造を18区画に配置し、同一条件で耐久性を比較･評価します。

3．技術の効果

1.　次世代技術研究所「T-FIELD/SATTE」は、舗装道路の材料開発･製造･施工検証まで同一敷地内で完結できるので、脱炭素技術の開発速度を高めます。

2.　次世代技術実証センター「T-FIELD/TAMURA」は、5台の無人大型トレーラーによる昼夜連続の自動運転走行で実証を行い、実際の道路舗装設計年数に相当する耐久性評価期間を1/3程度以下に短縮できます。

４．技術の適用範囲

舗装で使われる、アスファルト、コンクリートおよび舗装道路の構造に関する、開発･検証を行うことができます。

５．活用実績

1.　次世代技術研究所「T-FIELD/SATTE」は、2026年2月より本格稼働を開始

2.　次世代技術実証センター「T-FIELD/TAMURA」は2026年6月より本格稼働を開始

6. 写真・図・表

T-FIELD/SATTE（埼玉県幸手市）

T-FIELD/TAMURA（福島県田村市）